



ブリティッシュ・エアウェイズが関西＝ロンドン線を新規就航 -BAとしては20年ぶり、関西とロンドン間の直行便は10年ぶり-

関西エアポート株式会社は、ブリティッシュ・エアウェイズ（BA）が関西国際空港＝ロンドン線を2019年4月1日（月）に新規就航し、週4便運航することをお知らせいたします。ブリティッシュ・エアウェイズによる関西＝ロンドン線の運航は、1998年以来約20年ぶりとなります。

また、関西＝ロンドン間は、10年ぶりの直行便就航となります（2009年3月まで日本航空が運航。今回の就航は、ブリティッシュ・エアウェイズと日本航空との共同運航便）。

ロンドン線については、関西経済界・自治体・旅行業界と新関西国際空港株式会社が一体となり、航空会社へのプロモーション・セールス活動を行うなど、長年にわたり誘致を行ってまいりました。

2016年4月より、コンセッション（公共施設等運営権）方式によって関西国際空港の運営を、オリックス株式会社とヴァンシ・エアポートの共同運営による関西エアポートが担うようになってからも、その取り組みを引継ぎ、世界の航空業界での専門性を活かしつつ、実現に向けて着実に歩みを進めてまいりました。

この度、ついに関西地域待望の直行便就航の運びとなり、関係の皆様のご努力が結実したことを大変嬉しく思っており、心より感謝申し上げます。

英国からの訪日客数は、2011年の15万人から継続して増加しており、2017年には31万人へと倍増しております。関西では2019年にはラグビーワールドカップ、G20大阪サミット、また2021年にはワールド・マスターズゲームズ大阪など、大型国際イベントが予定されており、イギリス・ヨーロッパから日本へのさらなるインバウンド需要が見込まれます。

またロンドンにはヨーロッパの金融の中心であり、多数の関西企業が進出しています。また観光地としての魅力が高く、日本人の人気の高いディステーションです。この度の直行便就航により、関西からのアウトバウンド需要にもお応えするとともに、関西経済の活性化にも貢献できるものと考えております。

関西エアポート株式会社は、引き続き、長距離路線を含む多彩な航空ネットワークの拡充に努め、お客様の利便性向上とともに、快適で楽しい旅の体験を創造してまいります。

○ 運航開始日

2019年4月1日（月） ※ロンドン（ヒースロー）発は2019年3月31日（日）から

○ 運航スケジュール

路線	便名	スケジュール（現地時間）	運航日
ロンドン （ヒースロー）	BA020	関西発（11:30）→ ロンドン着（15:50）	月・火・木・土
	BA019	ロンドン発（14:20）→ 関西着（09:50 ⁺¹ ）	月・水・金・日

※関係国政府の認可取得を条件とします。また、運航スケジュールは変更となる場合があります。

○ 機材仕様

型式：	B787-8	
座席：	ビジネスクラス：	35席
	プレミアムエコノミークラス：	25席
	エコノミークラス：	154席
	合計：	214席



画像提供：ブリティッシュ・エアウェイズ

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社
企画・管理部 広報・ブランディングチーム
Tel：072-455-2201

関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018年4月1日からは関西エアポート株式会社の100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西3空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: www.kansai-airports.co.jp/ をご参照ください。

関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	株主	オリックス 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% ¹
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO エマヌエル・ムノント		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港1番	株主	関西エアポート株式会社 100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO エマヌエル・ムノント		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



オリックス株式会社について

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では融資、投資、生命保険、銀行、資産運用、自動車関連、不動産、環境エネルギー関連などへ事業を広げています。また、1971年の香港進出を皮切りに世界38カ国・地域に拠点を設け、グローバルに展開しています。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、36空港の開発・運営を行っています。同社の空港ネットワークを構成するフランス、ポルトガル（リスボンのハブ空港含む）、カンボジア、日本、ドミニカ共和国、チリ、そしてブラジルの空港には、合計で200社を超える航空会社が就航し、2017年の旅客者数は1億5,660万人にのぼります。

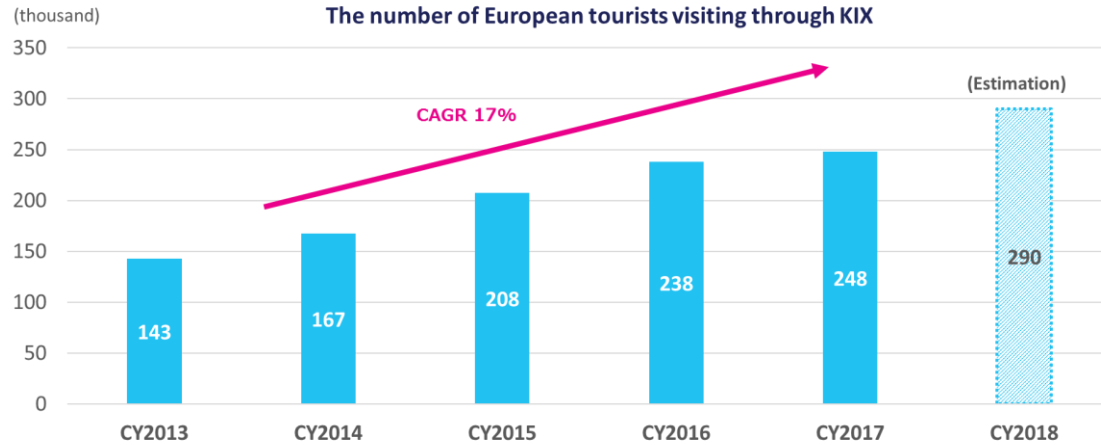
ヴァンシ・エアポートは総合インテグレーターとして、1万2,000人のスタッフの専門知識と経験を駆使し、空港の開発・資金調達・建設・運営に当たっています。またその投資力、国際ネットワーク、ノウハウを生かして既存空港の運営と機能を最適化し、施設拡充や新規建設を行っています。

2017年の連結売上高は14億ユーロ、グループ全体の売上高は32億ユーロ（関連会社含む）に達しました。

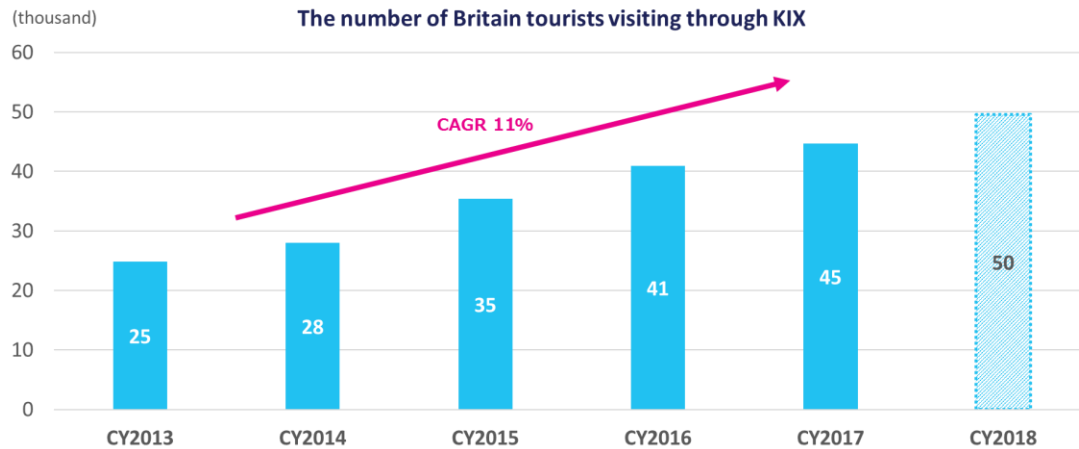
詳細は www.vinci-airports.com をご覧ください。

¹ 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構

訪日ヨーロッパ旅客の急増



- 訪日ヨーロッパ旅客数は毎年順調に推移しており、直近の5年間で2倍以上に増加しています。
- 2019年以降は、ラグビーワールドカップやオリンピック・パラリンピックなど、魅力的なイベントが数多くあり、これらは今後のインバウンド旅客増加の起爆剤となるでしょう。



Data source: Immigration Bureau

ブリティッシュ・エアウェイズ 関西-ロンドン線を開設



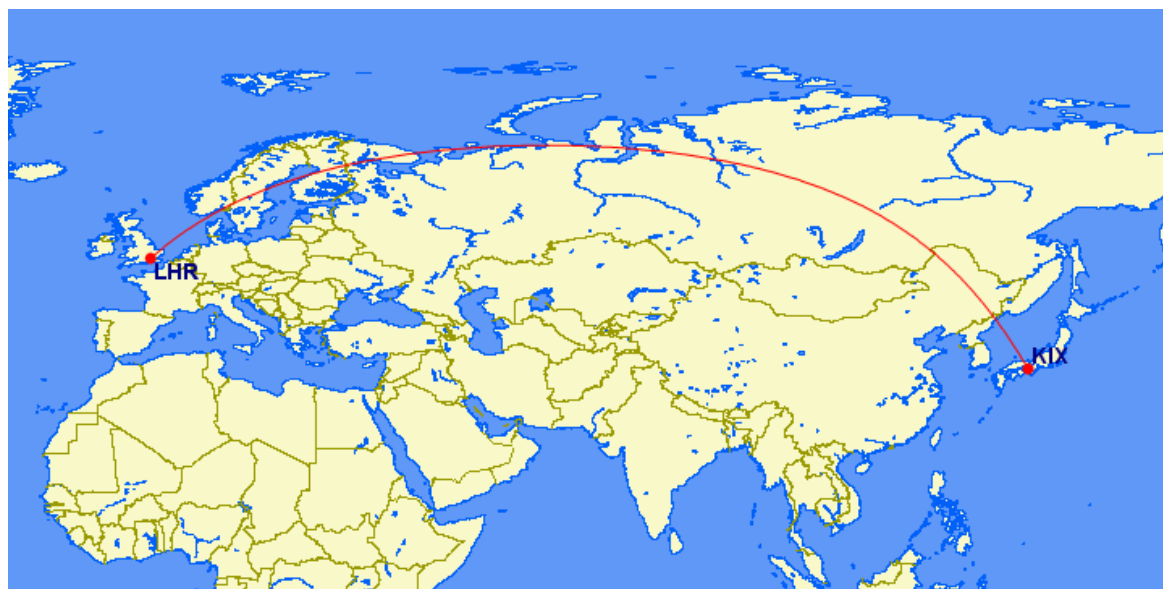
ブリティッシュ・エアウェイズの関空-ロンドン線が新規就航します。 関西未就航路線の中で最も旅客数が多いのがロンドンです。



2019年4月1日より運航開始

スケジュール

便名	スケジュール (日本時間)	運航曜日
BA020	関西 (11:30) → ロンドン (15:50)	月、火、木、土
BA019	ロンドン (14:20) → 関西 (09:50 ⁺¹)	月、水、金、日



- 機材 : B787-8
ビジネスクラス : 35席
プレミアムエコノミークラス : 25席
エコノミークラス : 154席
合計 214席

当フライトは通年運航の予定です。冬期スケジュールの詳細につきましては、別途ご案内いたします。

関西における長距離路線の拡大

- 日本人旅客の需要回復と、ヨーロッパ旅客の急増により、近年関西とヨーロッパ間の提供座席数は急激に増加しています。
- またヨーロッパだけでなく、北米やオセアニアについても多くの便を次々と就航しています。

近年の新規就航・増便状況

	航空会社	目的地	
2016.11	NZ	AKL	新規就航
2017.6	D7	HNL	新規就航
2017.12	QF	SYD	新規就航
2017.12	TR	HNL	新規就航
2018.1	LHcargo	FRA	新規就航(貨物)
2018.4	AY	HEL	デイリー運航開始 週5便→週7便
2018.10	EK	DXB	A380の導入
2019.3	JL	LAX	B788→B789
2019.4	BA	LHR	新規就航
2019.4	DL	SEA	新規就航
2019.4	AY	HEL	週10便に増便
2019.5	AC	YVR	メインラインへの切り替え

オセアニア路線
ヨーロッパ路線
北米路線